

[成果情報名]高冷地におけるふじさんアジサイの飾花利用を目的とした剪定方法

[要約]ふじさんアジサイを飾花目的として剪定する場合、主幹の長さおよび主枝の長さを調整することで、樹高、着花数、花穂の大きさを変えることが可能となる。これにより公園等における飾花としての利用拡大が図られる。

[担当] 山梨県総合農業技術センター・高冷地野菜・花き振興セ・岳麓試験地 渡辺 淳

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

地植えしたふじさんアジサイは、従来の剪定方法で地際部から短く剪定すると強い枝が発生し、花穂が大きくなる傾向がある。また、‘あかね’は、茎が軟らかいため開花した時に花穂の重さで地面に着くと観賞価値が下がる。一般に公園等における飾花利用では、花茎が倒伏しにくく、目的とする樹高にでき、さらに着花数が多い樹姿が好まれる。そこで、県育成品種の利用拡大を図るため飾花利用を目的とした剪定方法を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 主幹の長さ主枝の長さを変えて剪定することで、飾花時の樹高や株張りを調整することが可能である（図1、図2）。
2. ‘ライムライト’では、主幹 70cm～100cm・主枝 10cm、または主幹 50cm・主枝 30cmの長さで剪定すると主枝放任区に比べて2～3倍程度着花数が増加する。同様に、‘ほくと’では、主幹 70cm～100cm・主枝を 30cm とすると5倍程度着花数が増加する。‘あかね’では、主幹 50cm・主枝を 30cm とすると、2倍程度着花数が増加する（表1、表3、図2）。
3. 剪定方法により花穂の大きさに差がみられ、いずれの品種も主枝放任区に対して主枝を剪定すると花穂は2割程度小さくなる。また、主枝 30cm 剪定よりも 10cm 剪定の方がさらに小さくなる（表2）。
4. 飾花利用を図るためには品種特性を活かした剪定方法の選択が必要がある。‘ライムライト’では、いずれの方法でも飾花利用は可能である。‘ほくと’では、主幹を 50cm 以上確保することで着花数が多く、いずれの方法でも倒伏しにくい。‘あかね’では、主幹を 50cm 程度とすると着花数が多く倒伏しにくい（表3、図2）。

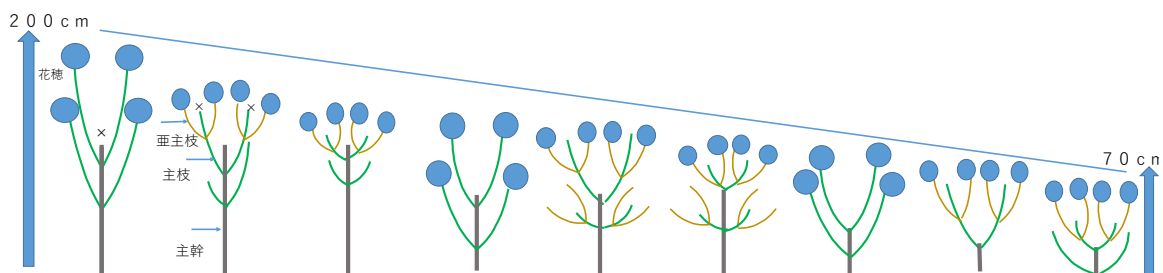
[成果の活用上の留意点]

1. 定植後2年程度は、地際部から剪定し強い主幹を確保してから3年目に剪定をする。
2. 剪定する主幹の長さ、主枝の長さは、栽培地における環境条件によって調整する。
3. 剪定する時期は、4月下旬までには実施する。
4. 植付けた場所（標高）、樹齢、施肥管理により樹高等は変動する。
5. 本試験は総合農業技術センター高冷地野菜・花き振興センター・岳麓試験地のほ場（富士吉田市・標高820m）において実施した。

[期待される効果]

1. 目的に応じた剪定方法が明らかとなり、本県育成品種の利用拡大が図られる。
2. 切り花生産を行う場合にも有効である。

[具体的データ]



主幹	長剪定 (70~100 cm)						中剪定 (50 cm)						短剪定 (20 cm)					
	放任 (無剪定)		長剪定(30 cm)		短剪定(10 cm)		放任 (無剪定)		長剪定(30 cm)		短剪定(10 cm)		放任 (無剪定)		長剪定(30 cm)		短剪定(10 cm)	
1主幹あたり	樹高 cm	株張 cm	樹高 cm	株張 cm	樹高 cm	株張 cm	樹高 cm	株張 cm	樹高 cm	株張 cm	樹高 cm	株張 cm	樹高 cm	株張 cm	樹高 cm	株張 cm	樹高 cm	株張 cm
ライムライト	200	80	185	130	150	100	150	70	125	100	100	85	130	50	100	85	75	60
ほくと	190	70	175	120	150	70	140	60	125	85	105	85	100	40	90	65	70	55
あかね	190	70	175	110	135	95	140	60	120	70	100	70	100	70	90	60	75	60

図1 ふじさんアジサイの剪定方法（1主幹）および樹姿の目安

表1 ふじさんアジサイの剪定方法の違いによる着花数

品種	主幹 主枝	長			中			短		
		放任	長	短	放任	長	短	放任	長	短
ライムライト		7	11	16	5	16	9	7	7	12
ほくと		4	20	11	3	9	6	5	5	6
あかね		3	2	5	4	7	6	4	7	2

※剪定方法の長、中、短の具体的な長さは図1に示す
 ※定植後3年目の株を使用。3年目は無施肥で管理
 ※着花数は花穂数を示し、単位は個（本）



図2 剪定したふじさんアジサイ
 ‘あかね’
 剪定 主幹 50cm 主枝 30cm

表2 ふじさんアジサイの剪定方法の違いによる花穂の大きさ

品種	主幹 主枝	長			中			短		
		放任	長	短	放任	長	短	放任	長	短
ライムライト		100	77.3	72.7	100	79.2	63.6	100	75.4	71.9
ほくと		100	87.0	83.3	100	80.8	76.9	100	78.6	71.4
あかね		100	71.5	68.3	100	84.6	65.4	100	67.2	57.8

※花穂の大きさ比較は、各剪定区内の放任の花穂を100とした相対値を表示
 ※定植後3年目の株を使用。3年目は無施肥で管理
 ※剪定方法の長、中、短の具体的な長さは図1に示す

品種	剪定方法	主幹の長さ						倒伏性
		長		中		短		
		長	短	長	短	長	短	
ライムライト		◎	◎	◎	○	○	◎	倒伏しにくい
ほくと		◎	◎	○	○	△	○	倒伏しにくい
あかね		△	△	○	○	△	△	枝が柔らかく倒伏しやすい

図中の◎○△×の基準

- ◎ 花穂が10本以上 かつ 倒伏しにくい
- 花穂が6以上9本未満 かつ 倒伏しにくい
- △ 花穂が3以上6本未満 かつ 場合により支柱が必要

表3 ふじさんアジサイの各剪定方法における飾花利用としての評価

[その他]

研究課題名：ピラミッドアジサイの新品種育成
 予算区分：県単（重点化）
 研究期間：2017～2021年度
 研究担当者：渡辺淳、穴澤拓未、赤池一彦